

北海道青少年健全育成計画基本計画見直しに当たっての  
主な社会情勢の変化に係る統計

## 1 インターネットの普及と青少年を巡る新たな問題について

### (1) インターネットへの依存的傾向

ア 本道の中高校生は、全国と比較して、インターネットへの依存的傾向は低い数値となっている。

	高校生(高い)	高校生(中程度)	中学生(高い)	中学生(中程度)
北海道	3.5%	35.9%	3.3%	28.6%
全国	9.2%	50.8%	7.6%	35.7%

(出典) 道教委「中学生・高校生のインターネット利用実態調査」(H26.7)

イ しかしながら、授業以外で、1日2時間以上インターネットを利用する生徒は高校生で6割を超え、中学生でも47.1%と5割に迫っている。

	1時間未満	1時間以上	2時間以上	3時間以上	4時間以上	無回答
		2時間未満	3時間未満	4時間未満		
高校生	15.4%	20.4%	15.8%	14.6%	31.3%	2.4%
中学生	23.4%	28.0%	19.5%	11.4%	16.2%	1.5%

(出典) 道教委「中学生・高校生のインターネット利用実態調査」(H26.7)

ウ また、「勉強時間や睡眠時間を犠牲にしている」との回答が高校生では4割を超える。

犠牲にしている時間	睡眠時間	勉強時間	趣味の時間	運動の時間	家族と話す時間	犠牲にしている時間はない
高校生	40.2%	41.4%	10.1%	11.9%	12.6%	23.4%
中学生	25.5%	34.9%	9.8%	9.7%	12.9%	33.4%

※複数回答可

(出典) 道教委「中学生・高校生のインターネット利用実態調査」(H26.7)

### (2) インターネット利用の低年齢化

インターネットを始めた時期は、高校生は「中学校」との回答が一番多かったが、中学生では「小学校高学年」との回答が4割を超えるなど、インターネット利用の低年齢化が進んでいる。

	小学校入学前～低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校	高校	無回答
高校生	7.5%	17.9%	21.6%	37.8%	14.4%	0.9%
中学生	8.0%	24.9%	41.5%	23.3%	—	2.2%

(出典) 道教委「中学生・高校生のインターネット利用実態調査」(H26.7)

### (3) SNSの普及

スマートフォンの急速な普及に伴い、SNS（ソーシャルネットワークサービス）が身近になり、「最も利用するインターネットの機能」でも「検索機能」に続き多くの割合を占める（中学生・高校生のインターネット利用実態調査（H26.7月：北海道教育委員会））。

	検索機能	ゲーム	SNSで情報を発信する	SNSで情報を見る	その他	無回答
全体	31.3%	17.8%	18.1%	10.2%	14.7%	8.0%
高校生	25.3%	15.4%	24.7%	13.8%	13.1%	7.8%
中学生	36.3%	19.8%	12.5%	7.2%	16.0%	8.2%

※複数回答可

（出典）道教委「中学生・高校生のインターネット利用実態調査」（H26.7）

## 2 いじめの認知（発生）件数の推移について

道内のいじめの認知（発生）件数は年によってばらつきがあり、過去5年間、3,300件から5,000件弱で推移している。

	道総数	小学校	中学校	高校	特別支援
H25	3,669	1,121	1,733	782	33
H24	4,978	1,684	2,192	1,051	51
H23	3,330	1,262	1,536	518	14
H22	4,731	2,148	1,977	596	10
H21	3,457	1,629	1,472	337	19
H20	4,408	2,286	1,770	330	22